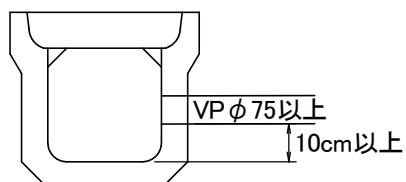


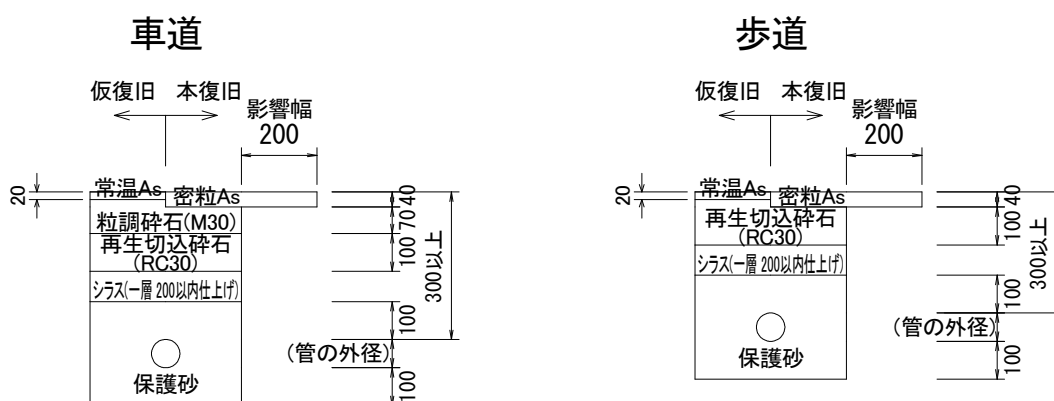
# 舗装復旧等標準図

※排水管について

- ・側溝に管をつなぐ際、底版から10cm以上の上部箇所に取り付けること

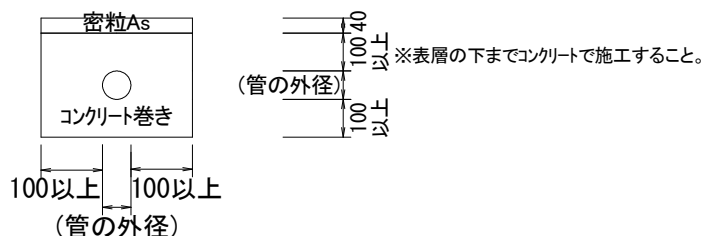


管頂からかぶりが30cmとれる場合



※宅地等の乗入口については、車道と同一の舗装構成で施工すること。

管頂からかぶりが30cmとれない場合



- ・埋め戻した路面の復旧は占有者が施工し、当初は仮復旧(常温)とし、自然転圧期間を一ヶ月以上おいた後、本復旧を行うこと。
- ・同工事で切断面が5m以内を掘削する場合、本復旧時には一体的に仕上げること。
- ・掘削するところから1.5m以内に切断跡がある場合、本復旧時に過去の工事跡まで復旧し、舗装継ぎ目を少なく仕上げること。